

## 満開の桜を見学にいきました。!



いいに、も親まなくを皆る た桜喜当ごがい とまし風日けへ  
まとて提利大しす行た感様機普ごにんに利、散車なれいがのまお春、  
す思い供用切む 事めじに会段様良でき用満策窓りた桜吹光し花  
つきし者に貴このの 季がな子いいれ者開とかま最とくをた見あ  
てた続様し重の1 每樂節少かで刺まいののいらし高上中感。ドる  
なよつ年しのななしだ皆桜うのたの品、じ、春ラふ  
行うと恒ん移いかたをたねさをもお おなど のイ あ  
事なし例でりご外 受 うん見の花 花香つ心穩ブ国  
を自てのい変入出 今然お大たわ所さ ら開 うれしと  
後をり切だりのれ 後のと本たた軽 和包美いなか郊

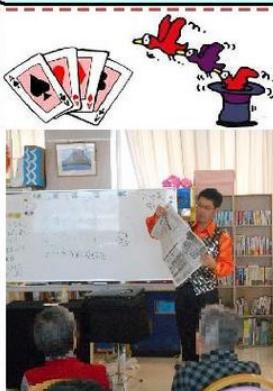
あ  
る  
ふ  
あ  
立  
て  
く  
る  
よ  
う

## フラダンスサークルの方々をお招きました。

がサ 声う間う いもルア者るて たは雅露所サア  
と「ももに間楽ま なの様のいフコ温なし者」  
うク四聞うなにしし注色方ばはてラとかダて様ク四月  
ごル軒こ終る過いた目づがか初もダといソ下にル軒中  
ざ「在えわとぎ時 さか着りめ、ン思南スさフ」在旬  
いの家てり入、間 れいてて実スイ国にいらの家  
ま皆フイ? 所終は 大のいボと際のま氣、まダ皆フボ  
し様ラま」者わあ 变衣るラいに事す分利レソ様ララ  
た、ダしと様りつ 喜装カンう目は に用たスがダン  
あンたいかのと んにラテ利に知 浸者を ンテ  
りス うら時い で フイ用すつ れ様優披入スイ



## マジックショー（笑いありの人気手品）



いげ皆 とえ釘用覧さりで会 く者るしれた たシ面奇  
まで様へなな付者にれ入な』そ見様とまでめ初 ヨ協術 2  
し頂 立りいけ様なてれくのれらの活しも、め 1力愛月  
たき会川ま有にのついた 方はれ表きたら利て をの好終  
あ場奇し意 目たたス所々『ま情活がえ用行 開も会わり  
りを術た義まはデカテ々が立しがき、る者う ど、のいに、  
が大愛 なたスイら1に、川た次と手か様催 たマ皆  
と变好 イ笑テケでジ笑手奇 第し品ドにし しジ様『  
う盛会】 べい1アす作い品術 にたがキ受も まツの立  
ごり ンのジの りをだ愛 数利始ドけの しク全川  
ざ上の ト絶に利ごを受け好 多用まキ入の

介護老人保健施設  
あるふあ国立  
広報誌  
H26夏号

年4回発行

◆発行者◆  
あるふあ国立  
広報委員会



頂催役	9月	お様	8月	飾七	7月
きし 利		届・夏	りタ小	付飾	七夕
ま物ご用		けご祭	納涼祭	学	
すを家者		し家り	けり生	けり生	
楽族様		ま族を	しのと	ま短と	
し様が		す様利	ま	ます冊も	
んと、主		に、用	を	をに	
で		者			

**敬老会**



まと様の し方 せいいでら頂に、  
しう 生國たに、見て春た つき、國  
た。ごあ徒立 にくのお力くまお立  
ざりの一 としれ訪花強 2し花一  
いが皆小 てたまれがく月たを小  
も利しを、綺で 寄の  
好用た感一麗し雪贈生  
評者。じ足にたのし徒  
で様 さ早咲の散て様

国立一小の生徒様より